

明浜小学校6年3組広報班

久里浜の広報大使 の7名です！

明浜小学校6年3組広報班の7名が、総合的学習の時間で学んだ、地元久里浜の歴史を「くりはまニュース」にまとめてくれました。(全12号)今回は、広報班の7名にくりはまニュースを制作した感想などインタビューしました。



パソコンでくりはまニュースを作ったり、チラシを配ったりして地元の歴史を色々な人に知ってもらえてよかった。(荒井敬斗)



久里浜の歴史をくりはまニュースにのせて全国の人に知ってもらえてうれしいです。また、自分たちの力で出来たことは良かった。(宮嶋諒)



ニュースを作成する際、注意を引くようなタイトルや写真と文章の配置を特に気を付けました。作る時は大変な事もあったけれど、やってきて良かったです。(浅田一哲)



最初は、くりはまニュースって何?と思ったけれど、後から友達が教えてくれました。だんだん自分で書いて出来るようになりました。(清野悠斗)



自分たちが住んでいる久里浜の歴史について、実際に行って感じたことを書くことができて良かったです。

「久里浜の歴史はこんなにもすごいのにみんな知らない」ので、くりはまニュースという形でみんなに知ってもらおう事ができてうれしかったです。(多田かの)



自分たちが制作したくりはまニュースが久里浜観光協会HPに掲載された時はうれしかったです。多くの人たちのアドバイスがあり制作できました。これからも色々な人に認めて頂けるように頑張ります。(三ツ橋泰輝)



制作したくりはまニュースの中で特に印象的な「幕末コース」を最終号の12号で取り上げました。このくりはまニュースをより多くの方に知ってもらいたいです。(大千里涼太)



7名のみなさんは、放課後や休み時間を利用して意欲的に制作してくれました。毎回、少しずつレイアウトやデザインが上手くなっていき、小学生の目線から感じたことを率直な文章に表現してくれました。久里浜行政センターでは、子供たちが地域の歴史に興味を持つきっかけ作りをしています。



久里浜行政センター